来て！見て！図書館（としょかん）

開館時間

午前9時～午後7時

休館日

2月 3日(月)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・28日(金)、
3月 3日(月)・10日(月)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。

●市立図書館●
佐間3―24―7（「みらい」内）
TEL：556―4227
FAX：555―3770

ぬいぐるみおとまり会

お気に入りのぬいぐるみを１日だけ図書館にお泊りさせてみませんか。一緒に読み聞かせに参加した後にぬいぐるみをお預かりします。

- ▶日　　時　3月1日(土)午後4時集合、2日(日)午後4時お迎え
- ▶場　　所　図書館ミーティングルーム
- ▶対　　象　小学校低学年以下（行田市立図書館の利用カードをお持ちの方）
- ▶定　　員　6人（定員を超えた場合は初めての方を優先し、その後抽選。参加が決定した方には2月23日(日)までにお知らせします）
- ▶そ の 他　・申し込み時にぬいぐるみの名前を伺います。
  ・お渡しするアルバム作成のため、お子さんとぬいぐるみを撮影します。
- ▶申し込み　2月16日(日)までに直接、電話、行田市電子申請・届出サービスのいずれかの方法により同館

大人のためのミニ朗読会「春」

- ▶日　　時　3月9日(日)午後1時30分～2時40分（午後1時開場）
- ▶場　　所　中央公民館第1学習室
- ▶内　　容　・「ベルナのしっぽ」より「ベルナのしっぽ」郡司ななえ／著　角川文庫
  ・「短劇」より「目撃者」坂木司／著　光文社文庫　他2作品
- ▶定　　員　70人（先着順）
- ▶協　　力　行田朗読の会
- ▶そ の 他　申し込みは不要です。

行田市立図書館の公式LINEを開設しました

図書館アカウントと連携することで、バーコードの表示や本の検索がLINE上でできるようになります。

その他の機能の使い方については図書館ホームページをご確認ください。

行田歴史系譜 371

資料がかたる行田の歴史 71

忍城下に奇妙な水堀ができた訳～鴨堀（かもぼり）の誕生～

嘉永年間（1848～1854年）の忍城を描いた絵図には、南側の沼に奇妙な水堀が見られます。今回はこの水堀が何のために造られたのか紹介します。

まず、絵図の描写を見てみましょう。沼には「鳥溜（とりだまり）」の文字、沼の南側に放射状にみられる7本の細い水堀、その場を囲む土塁沿いの西側に設けられた区画に「御鴨所御休息（おかもどころごきゅうそく）」の文字があります。これらの特徴は、おとりのアヒルやカモを使って引堀（ひきぼり）に野生のカモを誘い入れ、物音に驚いて引堀から野生のカモが逃げ立つ時に捕らえるための「鴨堀」の要件と合致するもので、忍城下の水堀は鴨堀であったことが分かります。

武州忍城郭之図（一部）（岡山大学附属図書館蔵）

それでは、なぜ鴨堀がこの頃の忍城に造られたのでしょうか。明治3（1870）年に鴨場跡地を開発した際の史料によると、この場所は、忍藩主松平忠堯（ただたか）が江戸城内の詰所（つめしょ）のうち溜詰（たまりづめ）に列席を果たしたことを受けて、天保4（1833）年4月に鷹場になった土地であったといいます。溜詰の大名は参勤交代で国元に赴く際、徳川将軍からタカを下賜（かし）されることを許されており、大名はそのタカで捕らえた獲物をまた将軍へ献上することを慣例としていました。そのためのガンやカモを捕らえるための鷹場として、忍城下に鴨堀が造られたのです。

大名の鷹狩りは、当主の初めての国入りの際に多くが領内巡見と合わせて広い範囲で実施されました。しかし、忍城下に造られた鴨堀は、将軍から下賜されたタカでガンやカモを捕らえるという明確な目的の下、狭い範囲に造られた特殊な鷹場であったということができます。

同様の構造を持った鴨堀には、浜御殿（現在の浜離宮恩賜庭園）に造営された新銭座（しんせんざ）鴨場や、宮内庁の埼玉鴨場（越谷市）などが現存しています。

（郷土博物館　澤村怜薫）

クローズアップ！！ぎょうだの会社を

有限会社さつきケアサービス

“ピカピカ”の笑顔のために

今月は、昨年9月に「令和6年度介護職員の働きやすい職場環境づくり厚生労働大臣表彰奨励賞」を受賞した有限会社さつきケアサービスを紹介します。

同社は平成16（2004）年10月に介護付き有料老人ホームとして荒木にさつきホームを開設しました。平成19（2007）年に24床から32床へと増床し、令和5（2023）年には新館が完成。50床に増床して、入居者への手作りの食事提供、入浴やレクリエーションなどの日常生活の支援を行っています。

もともと英会話教室を運営していた代表取締役の高橋さん。平成19（2007）年の増床を契機に施設運営を手伝い始め、その後お兄さんから施設経営を引き継ぎました。高橋さん自身は介護士などの資格を有していないため、直接介護をすることはできませんが、それまでに培った経営手腕を生かした施設運営や経理事務を通じて、入居者が日々笑顔で過ごすことができる施設づくりに専念しています。

入居者の笑顔のためにはサービスを提供する職員自身も笑顔で働くことができる環境が必要です。同施設は埼玉県介護人材採用・育成事業者認定制度の認定（2つ星）、多様な働き方実践企業、男性育休推進宣言企業、シニア活躍推進宣言などさまざまな認定・認証を受けています。自身を「認定マニア」と語る高橋さんは、認定・認証を受けるための書類作成を通して「会社経営を見直すきっかけにもなるし、認定や認証を得たときのスタッフの喜びが私自身だけでなく、スタッフ自身のモチベーションアップにもつながります」と話してくれました。大き過ぎない施設という特徴を生かして、入居者やその家族、介護に携わる現場の職員と直接意見を交わしながら、スピード感をもって施設運営や経営の改善を進めています。

介護の職場は入居者にとっての「住まい」であり、働きやすい環境づくりは入居者にとって暮らしやすい住まいづくりにつながります。「これからも認定や認証があれば積極的に申請していきたい。そして、入居者様やご家族、スタッフが笑顔で過ごすことができるよう“ピカピカ”に磨き上げていきたい」と語る高橋さん。入居者と職員で作り上げられたアットホーム感のあるこの施設では、今日もみんなの笑顔が“ピカピカ”に輝いています。

会社プロフィール

代表取締役　高橋　貴子

【事業内容】介護付き有料老人ホーム

【所 在 地】荒木 2131―3

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課（内線318）までお寄せください。

私の作品

俳句

門井町　宮田　淑尚
一茶にも子規にもなれず冬の蠅

南河原　今村　文女
戦中派終活成らず年送る

緑町　松林　真弓
一病の足ほぐしたる柚子湯かな

藤原町　斎藤雄次郎
金髪がかついでゆくや大熊手

下忍　荒井　王子
畑一枚持ち上げている霜柱

小見　川島　盾子
白息を先に移して出会う朝

棚田町　川鍋　幽覚
いつも見る天守に夕日十二月

長野　鎌田　昇
相槌を打つ人の居て日向ぼこ

忍　大澤　由子
神棚に若水汲みて幸願う

佐間　島﨑　房枝
天空の湯めぐり手形冬日和

富士見町　江利川敏夫
硯海の揺らぐ一滴寒の水

忍　伊藤　誠一
年金でつなぐ暮しや三ケ日

若小玉　吉住　司
一天へ手締研す酉の市

荒木　髙澤よね子
夭逝の娘の形見花芙蓉

持田　中野　華泉
ひとすじに主婦をつらぬき初氷

谷郷　吉野　六郎
開運の星座一際酉の市

埼玉　荻原　増夫
北風に向かう農夫の土性骨

渡柳　大西　道子
年毎に祖母に似て来し初鏡

（三沢　一水　選）

○俳句応募方法　一人3句以内。毎月末日（必着）までに、住所、氏名（ふりがな）、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。